

# 令和5年度第3回医療事業部研修会(報告)

主催 (公社) 熊本県栄養士会 医療事業部

日時 令和6年2月17日(土) 13:00~16:30

会場名 熊本市医師会館 2階研修室

## ◇講義1『心不全の病態と治療』

講師:熊本大学病院循環器内科 助教 花谷 信介先生

心不全の疫学、心不全の定義や重症度分類など詳しく教えて頂きました。また、栄養食事指導を実施し病態が改善した事例についてもお話し頂きました。薬剤については、糖尿病治療薬でもある SGLT2 阻害薬が QOL や長期予後改善につながることを説明頂きました。近年増加の一途をたどる慢性心不全患者の再入院予防に向けては、チーム医療の一員である私たち管理栄養士・栄養士の役割は大きく、病態に応じた栄養評価を正確に行い、適した栄養管理を行うことが重要であると改めて感じました。

## ◇講義2『PES 報告の書き方について』症例より

講師:済生会熊本病院栄養部 管理栄養士 山室 伊吹先生

医療事業部では日本栄養士会が推奨している栄養診断の PES について理解と普及のために定期的に講義を取り入れています。今回も演習形式で実際に症例をもとに PES を取り入れた SOAP 形式の栄養指導報告書作成について教えて頂きました。PES 報告を理解し実践するためには短い時間でありましたが、研修会を通して身につけたいと思いました。

## ◇講義3『地域に根ざした活動について』

### ～管理栄養士・栄養士の役割について～

講師:高野病院認定栄養ケア・ステーション 管理栄養士 豊田 裕輝子先生

高野病院認定栄養ケア・ステーションの活動についてお話がありました。認定の要件からクリニックとの契約のもと外来栄養食事指導の実施、自立支援型ケア会議の参加、講演活動など積極的に携わっておられました。管理栄養士・栄養士が地域に求められる役割について詳しく教えて頂きました。講義後は管理栄養士・栄養士が地域で活躍出来る場所について考えるグループワークもあり、各グループで活発に意見がありました。日本は急速な超高齢化社会を迎え、2025年には高齢者の人口が全人口の30%を超えと言われています。地域に求められる役割は大きく、専門職として私達の働き方も変わっていくと実感した内容でした。

### \* 連絡事項

会員限定の「繋げるメール」の開設予定

身近に相談する相手がない、栄養管理や給食委託業者に関する事、診療報酬に関する事等気軽に相談出来る、相談窓口を開設します。詳しくは後日皆様へお伝え致します。

今回は対面で管理栄養士総勢 72 名の出席でした。

グループワークも行い各施設の栄養士さんとの情報交換も出来たことと思います。

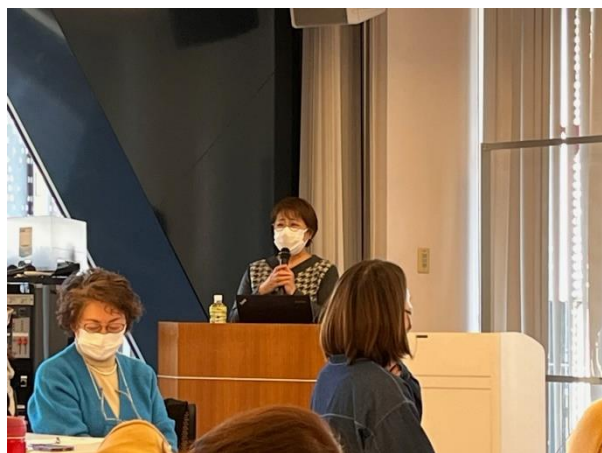
ご講演頂きました花谷先生、山室先生、豊田先生、ありがとうございました。  
次回は6月を予定しております。



【花谷先生ご講義の様子】



【山室先生ご講義の様子】



【豊田先生ご講義の様子】



【グループワークの様子】